

令和8年度

へき地・地域医療研修会

【講演会】

2026年8月22日(土) 14:55 ~ 16:45

Zoomオンライン同時配信

医療とアート ~ 地域医療とのつながり ~

講演1 有路 春香 先生

地域で“生きる”を支える医療
~へき地医療・生きがいから考える
これからの医師の役割~

- ・離島・へき地医療の経験
- ・地域で暮らしを支える視点
- ・医療だけでは解決できない課題
- ・多職種/地域住民との協働
- ・家族・コミュニティ・ウェルビーイング
- ・若手医師のキャリア形成
などにまつわるお話をご講演いただきます

講師紹介

医師/医学博士/順天堂大学総合診療科 協力研究員
(国際保健分野)

<略歴>

2016年 順天堂大学医学部 卒業

2018年 沖縄県立中部病院 初期研修修了

2021~2023年 沖縄県久高島など離島地域で
地域医療に従事

2022~2026年 順天堂大学大学院 医学研究科
グローバルヘルスリサーチ研究室
博士課程

2023年~ 株式会社ひまり設立

2024年~ 小平市にてZoeee Gallery
(ゾーイーギャラリー)の運営

現在は主に三児の子育て中。

講演2 村岡 ケンイチ 氏

地域医療に息づくアートの力
~20年のセラピーが繋ぐ、
心のケアと予防医療の可能性~

全国の医療機関で20年近くにわたり大勢の患者様と向き合ってきた「似顔絵セラピー」の実体験をもとに、医療現場におけるアートと心のケアの重要性について具体的なエピソードを紙芝居形式を交えながらご講演いただきます。

講師紹介

医療とアートの学校 校長/似顔絵セラピー 代表/
アーティスト

<略歴>

1982年広島県出身。東京都在住。2004年名古屋芸術大学イラストレーション科を卒業後、上京。2006年に県立広島病院で「似顔絵セラピー」を発表し、医療施設・介護施設で心のケアを提供。日本テレビ「スッキリ」特集やNHK「日曜美術館アートシーン」「今夜は絵顔で眠りたい!」で紹介されるなど、メディアにも出演。2012年似顔絵セラピーの効果が、医学論文として日本農村医学会雑誌「第60巻第4号」に掲載。2023年WHO(世界保健機構)【医療とアートの学校】講演。日米韓の三か国で行われた似顔絵国際大会・白黒部門5回優勝。現在は、病院内の壁画を描くホスピタルアーティストとし大学病院等でアート空間プロデュースや、全国の病院で似顔絵セラピーの活動や講演会を開催する。

ご講演終了後、お二人の対談を交え、参加者の皆様との意見交換の時間を大切にし、へき地・地域医療の現場に寄り添ったアイデアを共に生み出す交流の時間を設けています。

主催:愛知県へき地医療支援機構
協力:岡崎市

参加申し込みについては別紙案内をご確認ください